

2010年度認証企業

株式会社 飯野製作所  
世界最速の高速切断機、プレス工法によるパイプ曲げ加工、無交換式オイルフィルター



ソフトロニクス 株式会社  
超小型エンコーダ内蔵 新・位置決めサーボモータ



株式会社 エイ・エス・エイ・ピー  
半導体フォトリソグラフィ工程に於ける高粘度の薬液に対応できる装置の提供



日産ライトトラック 株式会社  
小型商用車開発



株式会社 弘輝テック  
後付自動半田付



日特エンジニアリング 株式会社  
巻線技術・サーボ制御技術・精密機械加工組立技術  
テンション制御技術・継線技術・搬送技術



サイエンス 株式会社  
【排熱回収型ヒートポンプ】システム技術、  
【ろ過装置】ろ過技術(の製造販売)



株式会社 長谷川機械製作所  
超小型工作機械の製造



2009年度認証企業

株式会社 金子製作所  
精密機械加工技術



株式会社 タムロン  
光学技術



カルソニックカンセイ 株式会社  
自動車用電装品製造技術



日本サービック 株式会社  
完全整列巻の技術



クラリオン 株式会社  
車載用機器製造技術



日本ピストンリング 株式会社  
トライボロジ技術



株式会社 住田光学ガラス  
光学ガラス、光ファイバー製造



ホッカイエムアイシー 株式会社  
超精密加工技術



八木アンテナ 株式会社  
無線通信技術、テレビ放送受信技術、放送伝送技術



2008年度認証企業

株式会社 朝日ラバー  
調色・シリコーン



日本電鍍工業 株式会社  
高性能めっきなどの表面処理



株式会社 アライヘルメット  
F1レースおよびバイク用ヘルメット



株式会社 ハーベス  
精密機械用潤滑剤



後藤精工 株式会社  
超高精度プレス加工



富士フイルム 株式会社 大宮事業所  
超精密レンズ加工技術 (旧フジノン株式会社)



株式会社 テクノスコープ  
高品質動画送信技術



株式会社 ベルニクス  
超高速DC-DCコンバータ



株式会社 東京チタニウム  
チタン溶接技能の自動化



ポーライト 株式会社  
焼結含油軸受、焼結機械部品、MIM製品



株式会社 日新化成  
超精密プラスチック成形技術



株式会社 ムサシエンジニアリング  
超高真空技術



株式会社 渡辺製作所  
通信用コネクタ、光センシングシステム



さいたま市テクニカルブランド企業認証事業

ガイドンス

GUIDANCE



【ロゴマークについて】

さいたま市テクニカルブランド企業認証事業および認証企業の  
ロゴマークは、「人の手」がモチーフです。  
先端技術の分野においても、モノを生み出すのはやはり「人の手」。  
独創的な発想を高度なものづくり技術で現実化し、  
未踏の領域を切り拓いていく技術者たちの象徴ともいべき「手」こそ、  
さいたま市テクニカルブランド企業認証事業および認証企業のシンボルです。

# さいたま市テクニカルブランド企業認証事業とは？

さいたま市が、技術の独創性・革新性に優れた市内の研究開発型企業を「さいたま市テクニカルブランド企業」として認証する制度です。認証企業へのさらなる競争力向上支援を通じて、さいたま市産業全体の活性化やイメージアップを図ります。

認証 FY 2011  
広報・情報発信

認証申請  
申請企業の評価

さいたま市による認証

支援 FY 2012

さいたま市による広報・PR  
さいたま市とさいたま市産業創造財団を中心とした支援機関による  
個々のニーズに応じたオーダーメイド型の競争力向上支援

支援 FY 2013

支援 FY 2014

FY 2015

## さいたま市テクニカルブランド企業に認証されると？

テクニカルブランド認証企業を対象とした各種支援が行われます。  
①「さいたま市テクニカルブランド企業」の名称およびロゴマークを使用することができます。  
②さいたま市が「さいたま市テクニカルブランド企業」の積極的な広報・情報発信を行います。  
③さいたま市が支援機関と連携し、「さいたま市テクニカルブランド企業」の個々のニーズに応じた競争力向上支援を行います。



## 評価や認証の決定はどんな機関が行う？

さいたま市が設置する「さいたま市テクニカルブランド企業評価委員会」が  
①技術の優位性②市場評価③企業価値等の視点で評価し、その協議結果に基づき、さいたま市が認証決定を行います。

同評価委員会は、企業支援機関、学術機関、国際ビジネス支援機関に属する専門家や、商品開発・マーケティング・財務会計等の専門家等で構成され、申請企業の評価と同時に、認証後の支援策について協議します。

- 【委員の主な所属機関】** 五十音順  
経済産業省、埼玉県、埼玉大学、さいたま市産業創造財団、産業技術総合研究所、政策研究大学院大学、中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構、理化学研究所、etc.
- 【委員の専門分野】**  
研究開発、産学連携、知的財産戦略、国際ビジネス、人材開発、事業戦略、etc.

## 認証期間は？

認証の日から3年を経過した日以後最初の3月末日までです。  
(2011年度認証の場合、2015年3月末日まで)  
所定の手続き・審査の後、継続認証することも可能です。



## さいたま市が行う広報・情報発信の内容は？

毎年国際展示会におけるPR、内外の一流経済誌、全国紙等で広報・情報発信を行います。認証企業に対して、平成22年度は次のような支援を行いました。

- 認証企業冊子「さいたま市テクニカルブランド企業」作成**
  - 作成時期：平成22年11月
  - 作成部数：7,000部（認証企業に送付のほか国内外の展示会等で配布）
- 第40回インターネットコン・ジャパンさいたま市ブースにおけるPR**
  - 会期：平成23年1月19日～21日
  - 会場：東京ビッグサイト（東京都江東区有明）
  - 内容：認証企業（希望企業）との共同展示によるPR
  - 本市ブース来場者数：939名
- 経済紙誌等への記事広告等掲載**
  - 日刊工業新聞就職特集号（平成22年5月）
  - 読売新聞＜東京本社版＞（平成22年12月8日）
  - 日経ビジネス（平成23年1月10日号）
- ウェブサイトでの広報・情報発信**  
専用ウェブサイトで認証企業を紹介。  
<http://www.saitamacity-business.jp/tech/tech01.html>



さいたま市テクニカルブランド企業2010



第40回インターネットコン・ジャパン  
さいたま市ブース



読売新聞



日経ビジネス

日刊工業新聞

## 支援機関と連携して行う競争力向上支援の内容は？

さいたま市及びさいたま市産業創造財団を中心とした支援機関が連携し、認証企業の個々のニーズに応じたオーダーメイド型の支援を以下のとおり行います。

- 技術開発支援**：研究開発案件を公募し以下の支援を行います。
  - 技術イノベーション支援
  - 新市場開拓支援
- 経営強化支援**：高度な知見や実績を有する専門家を認証企業に派遣し以下の支援を行います。また、今年度より高度な技術の融合及び新事業開発を目指し、オープンイノベーション支援を実施いたします。
  - 新事業開発支援
  - カイゼン支援
  - 国際ビジネス支援
  - オープンイノベーション支援
- 人材育成支援**：研究開発能力とマーケティング・事業化能力を融合させ、高度なマネジメントスキルを習得するための以下の研修を行います。
  - イノベーション開発研修
  - チームマネジメント研修



認証企業を対象とした「オープンイノベーション研修」  
(平成22年7月8～9日実施)